

H27-B-3 深度76.59~76.89m 最新活動面の走向・傾斜 (No.119) を再観察結果に基づき変更し、それに伴い条線方向 (No.120)、変位センス (No.121) を変更  
 ブロックサンプル写真のZ方向 (No.123) を修正及び薄片試料写真 (No.124) を修正

従前

見直し後

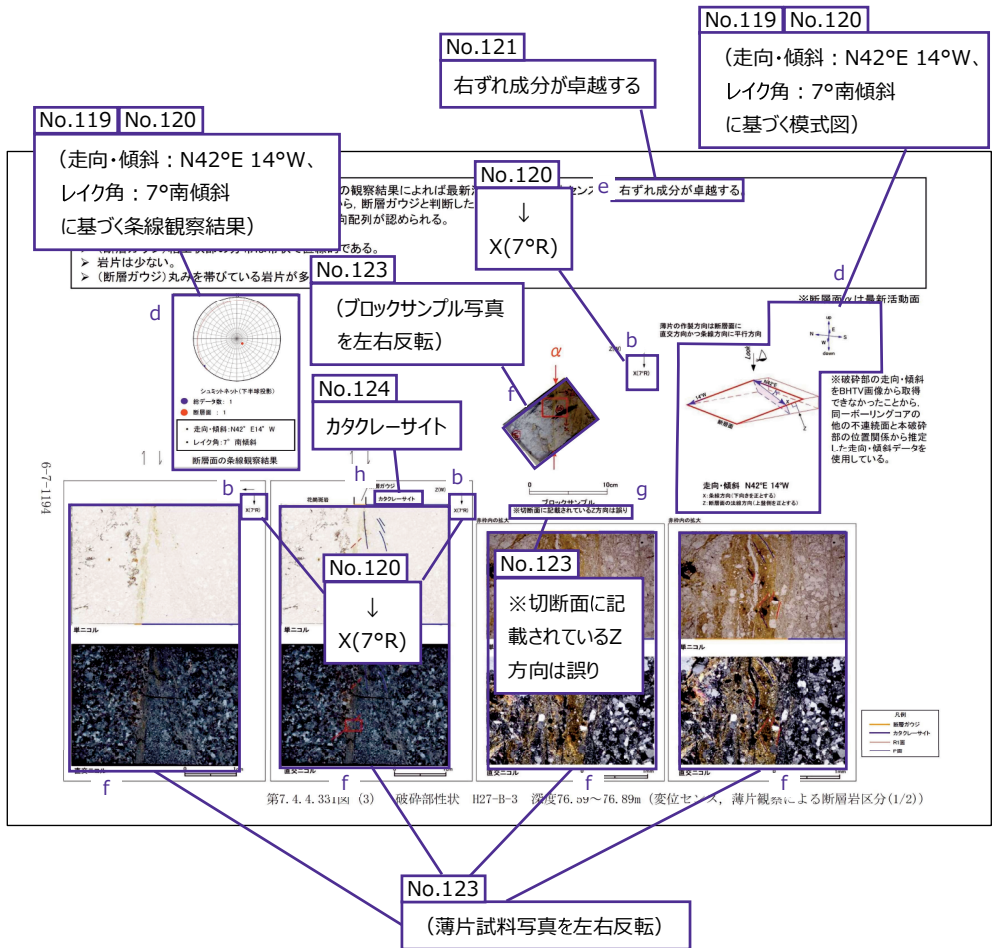
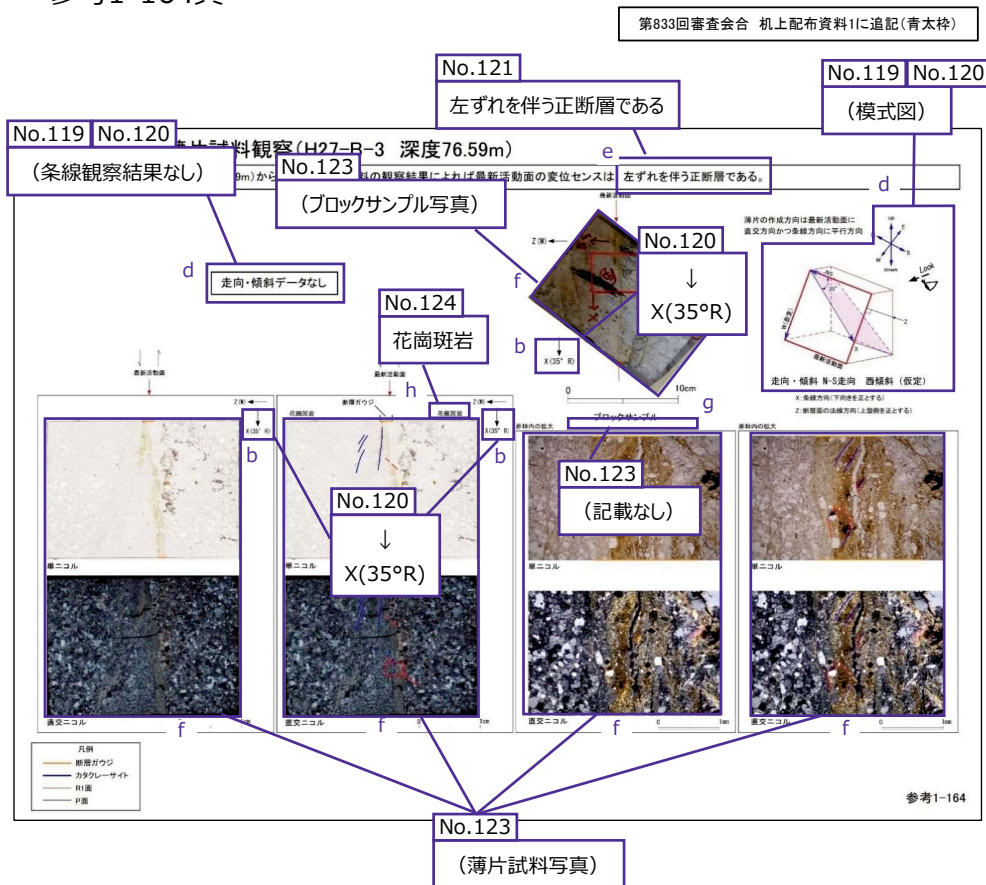
第833回審査会合

机上配布資料1

敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

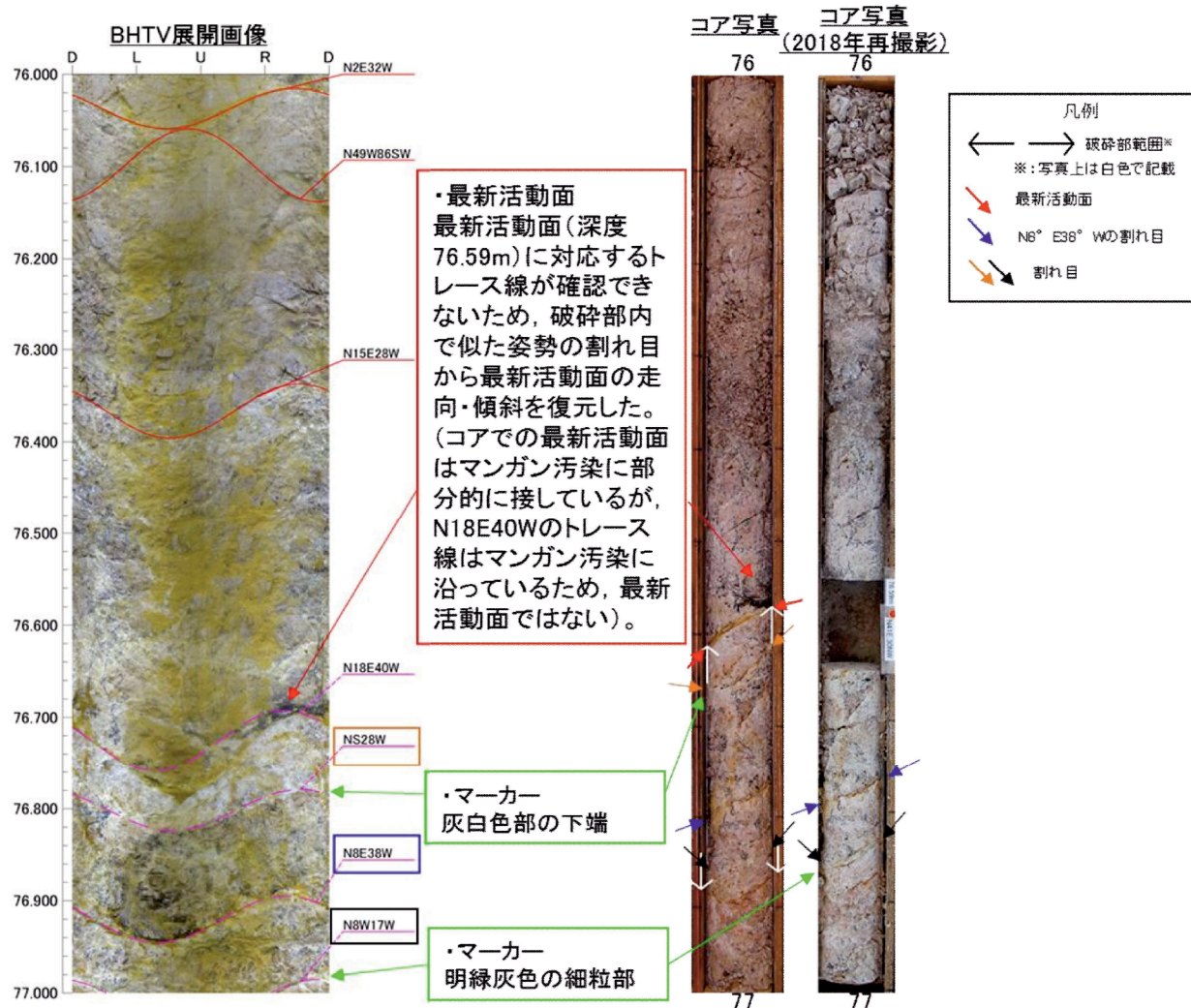
参考資料1 薄片観察結果

参考1-164頁



H27-B-3 深度76.59~76.89m 最新活動面の走向・傾斜 (No.119) を再観察結果に基づき変更

- H27-B-3孔 深度76.59~76.89mの破碎部は、最新活動面（深度76.59m）に対応するトレース線が確認できないため、破碎部内で似た姿勢の割れ目（N8°E38°W）から最新活動面の走向・傾斜を復元した。



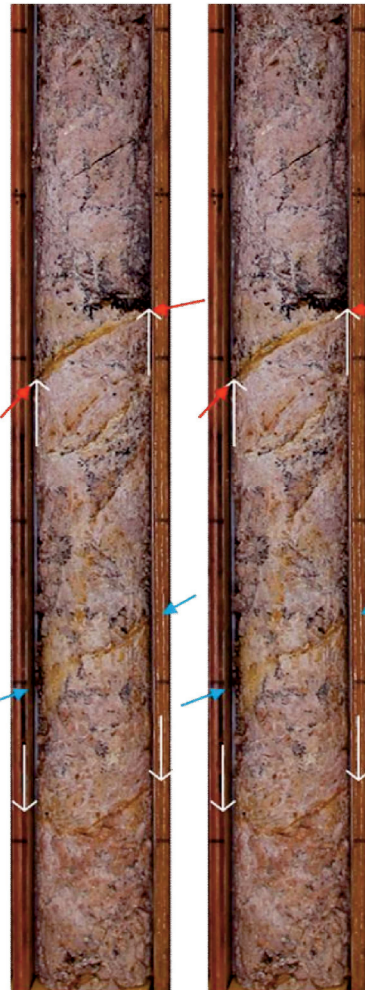


H27-B-3 深度76.59~76.89m 最新活動面の走向・傾斜 (No.119) を再観察結果に基づき変更

- N8E38Wの面の最大傾斜方向をボーリング孔を軸の40°回転した場合の最大傾斜方向と、最新活動面の最大傾斜方向がほぼ一致することから両面の最大傾斜方向の差は約40°であると考えられる。また、見掛けの最大傾斜角度の差は14° (47°-33°=14°) である。

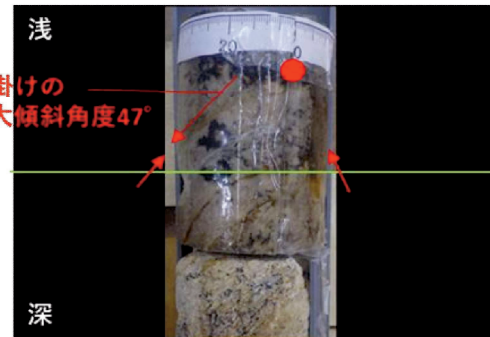
コア写真

76.4



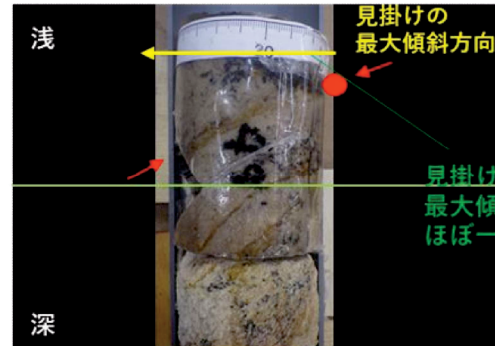
凡例  
 最新活動面  
 N8E38Wの面

77

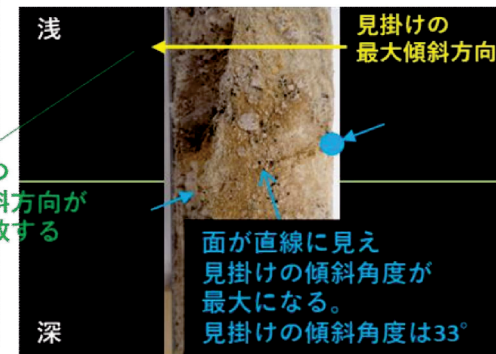


コアと直交する面

最新活動面(コア写真方向)



最新活動面  
 (コア写真方向から軸40° 回転)



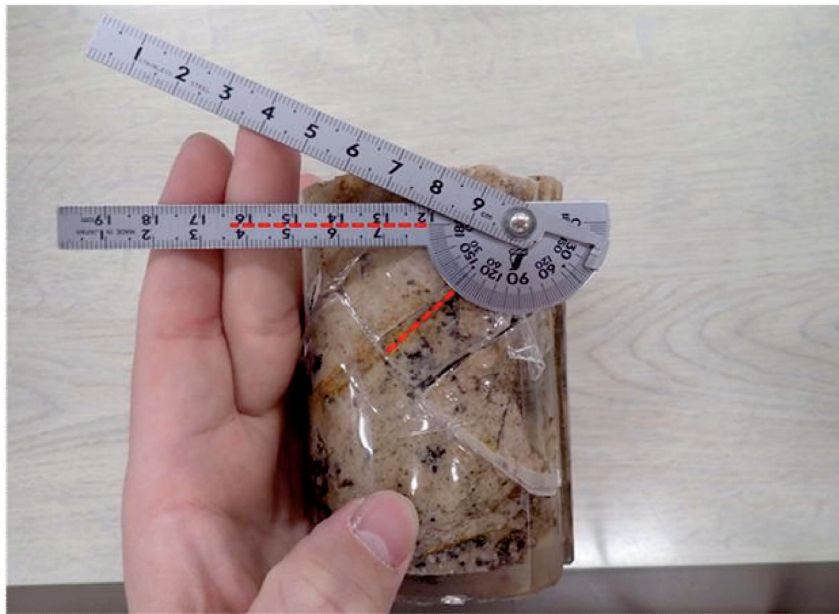
N8E38Wの面(コア写真方向)

面が直線に見え  
 見掛けの傾斜角度が  
 最大になる。  
 見掛けの傾斜角度は33°

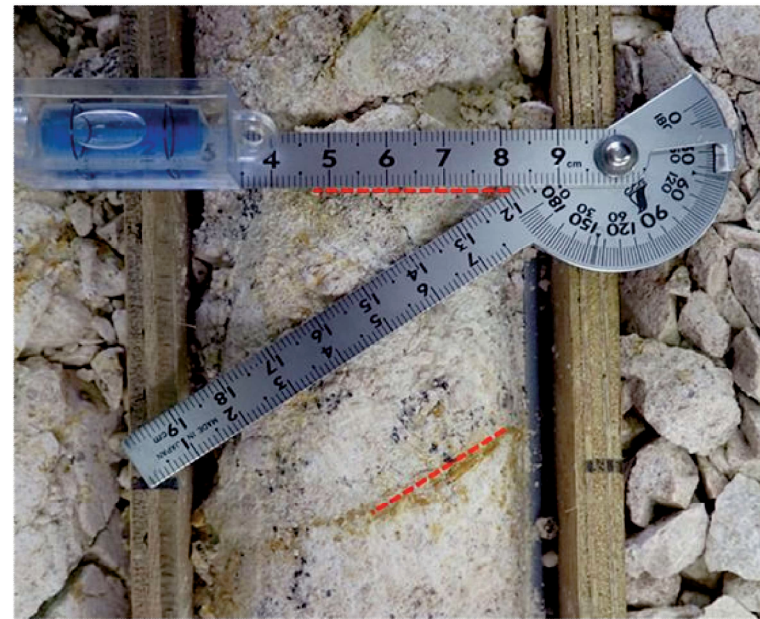
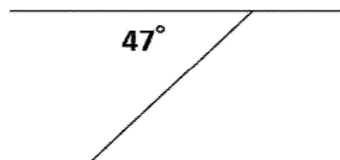
H27-B-3 深度76.59~76.89m 最新活動面の走向・傾斜 (No.119) を再観察結果に基づき変更

- 下写真の通り、最新活動面の見かけの傾斜は47°、マーカー（N8°E38°Wの割れ目）の見かけの傾斜は33°である。

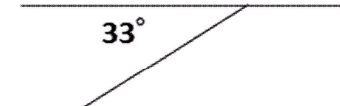
研磨片写真



最新活動面



マーカー（破砕部上端）

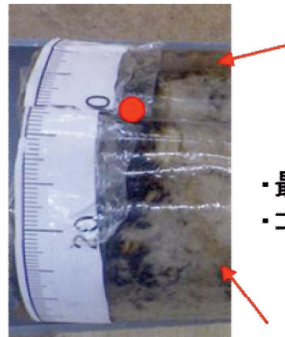


凡例
<span style="color: red;">---</span> 最新活動面
<span style="color: blue;">---</span> 破砕部上端面

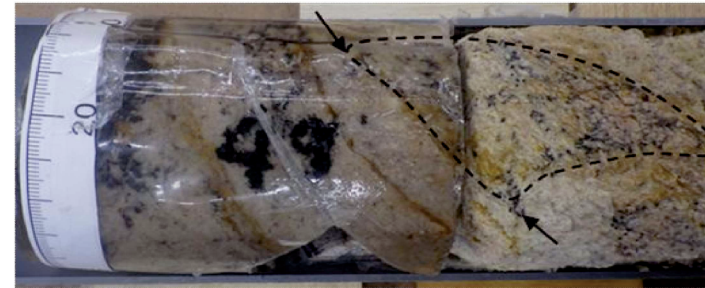


H27-B-3 深度76.59~76.89m 最新活動面の走向・傾斜 (No.119) を再観察結果に基づき変更

- ・研磨片とコアの連続を再現した。最新活動面と既知の面の見かけの最大傾斜方向のなす面間の角度は40°である。



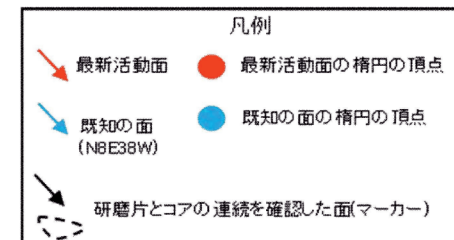
- ・最新活動面の上端は赤丸(0位置)
- ・コア全周は22.6cm



- ・研磨片とコアの連続を割れ目や組織から復元した。

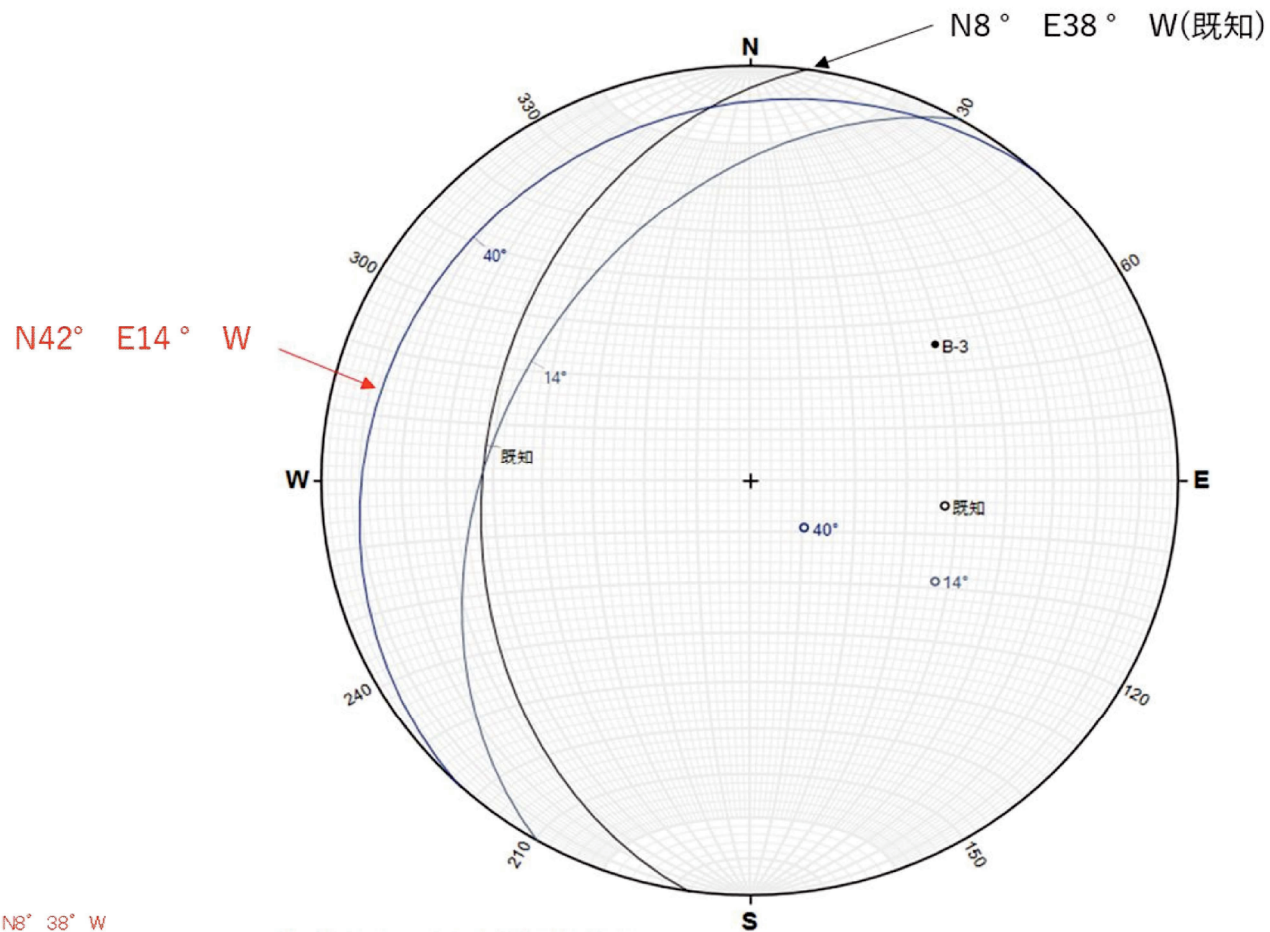


- ・面間のコア表面距離は2.5cm
- ・最新活動面と既知の面(N8E38W)の面間のコア表面距離は2.5cm
- ・コア全周22.6cm:360° = 2.5cm:面間の角度  
面間の角度 =  $360 \times 2.5 \div 22.6 = 39.82 \approx 40^\circ$



H27-B-3 深度76.59~76.89m 最新活動面の走向・傾斜 (No.119) を再観察結果に基づき変更

- H27-B-3孔 深度76.59~76.89mの破碎部の最新活動面の走向・傾斜を，走向・傾斜が既知の割れ目の姿勢から復元を行った。
- 走向・傾斜が既知の割れ目 ( N8°E38°W ) を，最新活動面の見掛けの傾斜角の差14°，最大傾斜方向のなす角40°回転し，最新活動面の走向・傾斜 N42°E14°Wを推定した。



凡例

既知: N8° 38° W

14° : 既知の面を見かけの傾斜角の差14° 回転させた面の走向・傾斜(回転軸:)

40° : 14° の面を最大傾斜方向のなす角40° 回転させた面の走向・傾斜(最新活動面の走向・傾斜推定値)(回転軸:)



## H27-B-3 深度76.59~76.89m 最新活動面の走向・傾斜 (No.119) を再観察結果に基づき変更

- H27-B-3孔 深度76.59~76.89mの破碎部の最新活動面の走向・傾斜を，走向・傾斜が既知の割れ目の姿勢から復元を行った。
- 走向・傾斜が既知の割れ目 ( N8°E38°W ) を，最新活動面の見掛けの傾斜角の差14°，最大傾斜方向のなす角40°回転し，最新活動面の走向・傾斜 N42°E14°Wを推定した。

